

学校 教育 目標	「こころ ゆたかな きくなの子」の育成					
	○ 意欲的に問題解決する子を育てます。(知) ○ 自分や相手を大切にすることを育てます。(徳) ○ 心と体の健康な子を育てます。(体) ○ まちを愛する子を育てます。(公) ○ 違いを認め合える子を育てます。(開)					
学校 概要	創立 68 周年	学校長 野間義晴	副校長 金子由美	2 学期制	一般学級: 26	個別支援学級: 4
児童生徒数: 893 人 主な関係校: 大綱中、上の宮中、篠原中、樽町中						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	大綱・上の宮中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ともにかかわり合いながら学びに向かう力> <思考・判断・表現につながる言語能力> <互いを認め合い、問題解決する力>	大綱中学校・大綱小学校・大豆戸小学校・太尾小学校 上の宮中学校・馬場小学校・獅子ヶ谷小学校	主体的に学習に取り組む子 あいさつができ、友達や地域とのかかわりを大切にする子 自分よさを活かしながら夢や目標に向かってチャレンジする子 ・子どもたちによる主体的なあいさつ運動の展開をし、家庭、地域への啓発を展開。 ・主体的な学習を引き出す在りかたについて、各教科で身につけさせたいことを小中で共有。 ・学習の中で協働的な学びの場面を作り、地域を活用したカリキュラムを設定。 ・授業参観や合同研修会等で児童生徒理解を深め、9年間を通して自己有用感

中期 取組 目標	○「こころ ゆたかな きくなの子」の育成を目指して、豊かにかかわり 心をつなぐ学校にします。 ・教職員の学びあいを大切にし、個々の能力とチーム力の発揮ができる運営組織の確立を目指します。 ・心身共に健康な生活習慣の確立と体力向上に向けた取り組みを推進します。 ・豊かな人間性の育成のため、縦割りペア活動の充実を図り教育ボランティアの活用を推進します。 ・地域とのつながりを意識し、様々な体験を通して、自分の住んでいるまちを愛する心を育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 重点研究部	①全学年・学級で「菊名のきまり」を徹底し、基礎・基本の定着を目指す。②研究テーマ「ともにかかわり合いながら自分を見つめ自分を生き生きと表現していく子をめざして」をもとに、国語科を中心に主体的に問題解決する中で、発言力・表現力が高まり、自分の言葉で表現する力を育てる。
豊かな心 担当 ふれあい委員会	①ペア学年でふれあい活動、ふれあい給食、ふれあい遠足を充実させ、学級集団だけではなく異学年のつながりを築くようにする。②読み聞かせ、図書ボランティアの方々とふれ合う活動を金曜朝の時間を有効活用していく。また、年間を通してあいさつ運動に取り組み、中学校との連携を図る。
健やかな体 担当 体育部	①ヘルスプロモーションの考え方を重視し、保健学習等を通して自己の体調・健康管理能力を育てていく。②一校一実践運動「一つでも運動をしよう」を取り上げ、体力アッププロジェクト(投力・ドッジボール大会・短縄練習を通して体力の向上に励む。
児童生徒指導 担当 児童指導委員会	①全学年・学級で「菊名スタンダード」を全教職員が同じ方向で指導にあたる。②職員会議後半に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。また、専任を中心に児童指導上の諸問題について情報を集約し、スクールカウンセラー等の積極的な学校への関わりを進める。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①コーディネーターを中心に配慮が必要な児童の情報を共有し、特別支援教育に関する研修を行う。②地域療育センター等と連絡を取り合い、定期的に児童の状況を見ていくと共に職員研修を行う。個別の教育支援計画、アセスメントシートを活用し学校として統一した支援や方針をだす。
教育環境整備 担当 環境委員会	①職員室のパソコンを利用し、紙ベースではなくPC上で情報の共有を図る。②校内の掲示板を各学年ごとに場所を作り、児童の委員会を活用して環境整備を進める。また、空き教室がない状況のもと、校内の環境整備の工夫に重点を置く。
地域連携 担当 教務部	①地域・保護者・外部諸機関等と連携したさまざまな活動を通して、児童が安心して豊かに生活できる学校づくりを推進する。②「まごころの会」(読み聞かせ)や「学援隊」等をはじめとした地域の教育力を生かした活動の充実を図り、創立70周年を見据え、学校やまちを愛する心を育てる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①児童一人一人の心理や特性を見出す児童理解に努め、道徳教育、人権教育の充実を図る。②児童の心の動きをとらえるため、カウンセリングマインドスキルに関する研修を行う。また、特別の教科道徳において、児童に自己をみつめ、より多角的にとらえ自らの考えを深める力を育む。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	①メンターチームを組織し、複数回の研修・授業の活動を継続して行う。また、情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、事務処理の効率化を図る。②定期的に、教務会を行い、ミドルリーダー、学校リーダーが全体を見通して学校運営していく場を設定する。